



若き日に
汝の思想を培え
若き日に
汝の体を養え
若き日に
汝の智能を磨け
若き日に
汝の希望を星につなげ
松前重義書

生徒が主役 ~あなたの生きる力を育てます~

東海大学付属甲府高等学校

〒400-0063

山梨県甲府市金竹1-1-1 Tel.055-227-1111 Fax055-227-1112

入学式

今年度は275名の新入生を迎えることができ、4月7日(土)、東海大学副学長 平野 葉一先生をはじめ多くのご来賓の方々、保護者の方々に見守られながら、無事に入学式を終えることが出来ました。新入生の一人ひとりが 担任の先生の呼名にも元気な声で返事をし、また初めて歌う建学の歌や校歌も大きな声で歌っていました。これから始まる新入生の皆さんの高校生活が、実り多いものとなるよう、また将来の希望に繋がるものとなるように、全力でサポートします。



東海大学副学長平野先生が、創立者松前重義先生の建学の精神のもとに、新入生に対しエールを送ってくださいました。

新入生を代表して、1組の殿岡君がこれからの高校生活に全力で取り組むことを力強く宣誓しました。

式の後には、担任の先生や副担任の先生の紹介です。

【2018年度を迎えて】 学校長 森永 州一

2018年度が始まるにあたり、東海大学を創立された松前重義博士の思いを振り返ってみたいと思います。なぜならば、本校は東海大学の建学の精神のもと教育活動を行っているからであります。

創立者、松前重義博士は熊本県が生んだ世界的な科学技術者であり、政治家であり教育者であります。創立者は明日の社会を担う(になう)強い使命感と豊かな人間性を持った人材を育て、調和のとれた文明社会を建設するという理想を高く掲げました。そして、東海大学の原点である望星学塾に4つの言葉を掲げました。それが「若き日に汝の思想を培え」ではじまる4つの言葉であります。この創立者の熱い思いを実現するため、全国にある付属高校の1つが本校であります。

したがって、本校は東海大学の建学の精神に基づいた教育を行い、学習と部活動を両立させる「文武両道」を教育方針としています。また、スローガン「生徒が主役～あなたの生きる力を育てます～」を具体的な教育目標としています。

2018年度を迎え、本校生一人ひとりに主役としての自覚と責任感を持ってほしいと思います。主役の皆さんは高校生活に全力で取り組むのがその役目ではないでしょうか。そして、その経験が生きる力に繋がっていくと思います。また、主役を支えてくれる方々への感謝の気持ちをご大事にしてほしいと思います。

先日、韓国で行われたピョンチャンオリンピックでは、過去の失敗を力に変えて多くのメダリストが生まれました。たとえば、銅メダルに輝いたカーリング女子の吉田夕梨花(ゆりか)選手は東海大学の卒業生です。彼女らは多くの失敗を乗り越え、夢を実現しました。皆さんがこれから、もし失敗してもその失敗を次に活かす考え方を頑張ってほしいと思います。2018年度の主役たちの活躍を心から期待しています。

最後になりましたが、これをお読みの皆様へ今後の本校の教育活動に対して、ご理解とご協力を心よりお願いして、年度当初のご挨拶といたします。



各学年主任、生徒会長からのメッセージ

新入生のみなさんご入学おめでとうございます。

東海大学付属甲府高等学校の未来を担う新入生の入学を教職員一同、お待ちしております。これから始まる高校生活は山あり谷ありの生活ですが、希望が満ち溢れています。本校には、皆さんの希望を星につなげる架け橋となるべく、生徒のことを思い、行動してくれる先生が沢山います。【生徒が主役】のスローガンのもと、入学した275名が主役としての責任を持ち、主役として活躍していけるよう担任の先生を中心に見守ってまいります。

一学年は、他の学年に比べ、先生方も若くて熱意と行動力に溢れる先生ばかりです。安心して学校生活を送ってください。しかし、社会にもルールがあるように、学校にもルールがあります。ルールやモラルが何のためにあるのかを考えてもらい、徹底してまいります。皆さんが通う高等学校は、義務教育ではありません。だからこそ、行動や発言に責任を持ちましょう。そして、素晴らしい三年間にしていきたいと思います。学校は、皆さんを応援しています。

1 学年主任 雨宮洋介

4月5日、暖かな陽光と共に新しいクラスでの新年度がスタートしました。

進級して、ちょっぴり頼もしくなった255名の生徒。新しい環境の中では分らない事、ときには不安を感じる場面が出てくるかもしれません。そんな時には、どうか今抱えている初心の気持ちを忘れず、それぞれ生徒一人ひとりのペースを大切にしながら、色々な経験を重ねてみんなで成長しながら今年度もおもしろい一年を楽しく過ごしてください。

2学年は、将来に向けての進路についても具体的に考えなければならない学年です。主役として、自覚・責任感・自主性を伸ばしていき、感謝する気持ちを忘れないで下さい。私達教員も全力でサポートをし、皆さんの活躍を心より期待しています。

2 学年主任 長田和久

3年生にとって、いよいよ高校生活最後の年になります。勉強も部活も学校の行事も、高校で友達と過ごすことも、すべてが最後になります。そして、1番大切なことは進路の決定です。人は、自分で考えて、自分で努力したことしか本当の自分の力にはなりません。自分は自分で成長させるのです。学校にある授業や部活、行事は、そのチャンスの中です。3年生というのは、その期間があと1年という事です。

これから進む場所は、高校のように大人が面倒を見てくれなくなる人が多いです。そこで大切なのは、自分以外の他人から応援してあげたいと思ってもらえるような人柄だと思います。世代や価値観の違う人から応援してもらえることが大切です。それには、「ゴミが落ちていれば拾う」、「人に会えば挨拶する」、「何かしてもらったら、ありがとうと感謝する」、ただそれだけです。勉強もちろん大切ですが、人としての土台ができていないと勉強の成長もありません。そのような意味で、自分で自分を整えることに努力する1年にしたいと思います。

これから進路を考えていくうえで、誰かに言われて勉強する。誰かに言われて学校へ行く、誰かに言われて大学に行く・・・のではなく、自分で決めて自分から人生を創ってほしいと思います。そういうことを残りの1年間で学んでほしいと思っています。目の前の事を頑張ることが、自分の人生の目的であるかのように集中していくことが、本当の意味での進路に繋がるのだと思います。

3 学年主任 小俣広弥

「新年度に向けて」

今年度は新しく全校清掃を始めました。学校全体が汚いと心も汚くなってしまいます。これまでは吹奏楽部のみなさんが各教室に割り振られていない掃除場所を掃除してくれ、学校が常にきれいな状態に保ってくれていました。しかし、吹奏楽部は練習の時間を削ってまでやってくれています。全校生徒が掃除を行えば、一人ひとり意識が変わり、汚くする人が減ったりごみを見たら拾う人が増えたりすると思います。全校生徒が、みんなで放課後の10分の時間で学校をきれいにしていきたいです。全校生徒が掃除について考えて、行動して欲しいです。また、どの学年もしっかりと挨拶が出来てきていると思うので、挨拶が飛び交う学校になって欲しいと思います。挨拶をすれば、気持ちもよくなるので、生徒会を中心に挨拶運動を展開していき、これからも全校生徒が挨拶について考えて欲しいです。



生徒会長 水村優太君

生徒会、2018年度の活動テーマが決まりました。

今年度の生徒会活動のテーマが、以下のように決定しました。今年1年の生徒会活動が、充実した実り多いものとなるよう、全校生徒が一致して頑張りたいと思います。

『 臨機応変 ～全員で創りあげる～ 』



新任紹介・始業式

4月5日(木)、今年度の始業式・着任式を行いました。今年度は5名の新しい先生を迎えてスタートしました。新しい出会いと共に、さらに学校生活にパワーとエネルギーが増し加えられることでしょう。



始業式の後、新任の先生方の紹介です。



五十嵐景都先生・理科



澤田昌宏先生・英語科



新谷勇太先生・体育科



八巻絵梨佳先生・体育科



遠藤恭太先生・地歴公民科

新入生歓迎会

4月16日(月)に新入生歓迎会を行いました。真新しい制服に身を包んだ新入生から見ると、先輩方はどれほどに頼もしく見えることでしょう。新現代舞踊同好会と吹奏楽部の歓迎ステージのあと、生徒会行事や各部活動の説明が行われ、華やかで楽しい雰囲気の中で新入生歓迎会が行われました。



吹奏楽部が演奏する“東海マーチ”に合わせて親入生の入場です。引率は2年生のリーダーが行います。



生徒会長水村優太君の歓迎の挨拶です。



歓迎の気持ちを込めた、新現代舞踊同好会のステージ。



吹奏楽部の歓迎ミニコンサート。軽快なリズムで会場を盛り上げてくれました。



生徒会による、年間行事の説明です。



体育局、文化局それぞれの部活の代表者による勧誘の挨拶です。各部活とも、趣向を凝らした紹介ビデオで魅力をアピールしました。

高校現代文明論

東海大学の付属高校である本校は、創立者 松前重義先生の建学の精神を指針として日々教育を行っています。本校を含む14の付属高校共通して創立者の理念を学び、松前重義先生が残された若者へのメッセージをしっかりと理解してほしいという考えのもと、1年生を対象にして高校現代文明論の授業を年間を通じて行っています。

この授業は、現代社会を有意義に生きるためには何が必要なのかという問いの答えを生徒が自ら得られるように、アクティブラーニングを豊富に盛り込んだ特徴的な授業構成となっています。4月16日(月)にその第一回目の授業を行いました。創立者 松前重義先生の生涯とその理念をドラマ化したビデオを鑑賞した後、校長先生から現代文明論講話をしていただきました。いまあたり前に使っている電話が、松前重義先生の長距離通信のための無装荷ケーブルの発明によってその礎が築かれたことや、その報奨金をもとにして東海大学のルーツがつくられ、それが現在の自分たちにも繋がっているということ、そしてなによりも松前先生が自分たちに何を伝えたかったのかを生徒たちは感慨深げに受け止めているようでした。この日の授業をはじめとして、1年間にわたる高校現代文明論の授業を通して、東海大学の建学の精神である4つの言葉、「若き日に汝の思想を培え 若き日に汝の体軀を養え 若き日に汝の知能を磨け 若き日に汝の希望を星につなげ」を自分自身の高校3年間の目標としてしっかりと設定し、生徒一人ひとりが本当に有意義で実り多い高校生活を送って欲しいと思います。



第40回全校高等学校柔道選手権大会

全国高等学校柔道選手権を終えて
柔道部監督 内山 亮

3月20日、21日に日本武道館におきまして全国高等学校柔道選手権大会が行われ、参加することができました。この全国大会に向けて、生徒たちは一生懸命練習に励み目標である「日本一」を達成するために切磋琢磨してきました。迎えた団体戦では1回戦で岐阜県代表の中京高等学校に代表戦の末競り勝ち、2回戦に進出しましたが、続く2回戦では準優勝した奈良県代表の天理高等学校に2人残りで敗れてしまいました。

まだまだ全国強豪校との差は感じましたが、インターハイでは行けるかもしれないという手ごたえもあったと思います。この差を夏のインターハイまでに埋められるよう努力しインターハイでは「日本一」になれるよう、生徒とともに頑張っていきたいと思っています。応援よろしくお願いたします。



【編集後記】

2018年度がスタートしました。2年後には東京オリンピックも控え、この数年間は大きく私たちの周りの状況も変化する年になるのではないのでしょうか。多くの外国の人々を迎えるための様々な検討がなされていますが、その考え方の中心にあるのは『日本らしさ』だと思います。

一時期、「おもてなし」という言葉が流行りましたが、人を敬い、人の立場に立って物事を考えられることが、日本人が持っている一番の美德であるような気がします。かつての日本には、「恥の文化」なるものが存在した時代がありました。武士の時代です。この時代は、何よりも自分自身の尊厳を傷つけられることを最も嫌い、命よりも自分自身の誇りを大切にしました。いまはそこまでの激しさはないものの、その意識は私たち日本人の心の奥底に、今も脈々と息づいていると思います。

ここで大切なことに気がかされます。それは自分自身の尊厳を大切にするために、他人の尊厳を傷付けることは絶対に許されないということです。私たちが幸せに生きていこうとして自分自身を大切にしたいと思う心の中には、同時に、他人を敬う心がなければならないのだと思います。それはとりもなおさず、人の気持ちや立場を思いやれる懐の深さに繋がります。

私たち日本人の美德とは、実は、決して自分自身を大切にすることだけではなく、自分の周りの人を心から大切に思う心がその原点なのだと思います。それこそが理想的な人間関係や理想的な社会を築きあげるうえで、とても重要なことなのだと強く思われます。

現代を生きる私たちは、いったいどうでしょうか。

(担当 湯口)